

平成27年5月17日  
今週のベストショット



青松園A 新町パイレーツ 対 塩浜ジャガーズ戦

一回表、大量点の幕開けとなった吉田選手のタイムリーで桐島、八坂選手がホームイン！

(写真：三友クラブ 大坪和則)

雁レクD 完封、大量得点でウインズ快勝！

ソルトベイスターズ（1敗）000000 0 石井●、鶴野一春田

新町ウインズ（1勝1敗）530011x 10x 藤田○一今林

HR：永淵、泉（新町ウ） 3BH：桐島（新町ウ） 2BH：藤田（新町ウ） 盗塁：長岡、安藤、藤田（新町ウ）

GWも終わり久しぶりにリーグ再会。晴天の中、試合開始。新町ウインズ藤田投手は、ソルト二番森選手に死球を与えるも2三振を奪い上々の立ち上がりを見せる。一方、初回からソルト石井投手に襲いかかるウインズ打線。一番長岡選手がライト前ヒットで出塁するとすかさず盗塁。二番安藤選手がサード前へのバント内野安打。三塁からの送球を一塁手後逸の間に三塁ランナー生還し1点。四球をはさんで四番藤田選手が左中間へ二塁打を放ちさらに2点追加。二死までこぎつけるも七番永淵選手が右越えHRを放ちこの回計5点を奪う。二回裏、ソルトはピッチャーが鶴野投手に代わるも2四球後、又も四番藤田選手にライト前タイムリーを打たれ失点。その後、味方エラーとヒットを許してこの回3失点。四回までノーヒットに押さえていた藤田投手だったが、五回表にソルト田中選手に初ヒットを許すも終わってみれば12個の三振を奪う快投でチームに今期初勝利をもたらした。（記事：奈多フェニックス 太田敏治、写真：今林）



初回、上々の立ち上がりを見せるウインズ藤田投手。



初回を投げきったソルト石井投手。



リリーフするもウインズ打線に捕まるソルト鶴野投手。  
打者はウインズ泉選手。



試合終了の10点目、サヨナラ打を放ったウインズ五番  
桐島司選手。

### 青松園A 投打がかみ合ったパイレーツが勝利！

新町パイレーツ（2勝）4 3 0 0 5 1 2 吉田○—桐島

塩浜ジャガーズ（3敗）1 0 0 0 0 1 内田●—橋村

HR：荒木（塩浜ジ） 2BH：吉田、八坂、佐々木（新町ウ）

先発はパイレーツ吉田投手、ジャガーズ内田投手で試合は始まった。初回、パイレーツは球が定まらない内田投手から二つの四球で一死二三塁とすると四番吉田選手が綺麗にレフト前にタイムリーヒットを放ち2点、押し出し四球もあっていきなり4点を先制。ジャガーズも負けじとその裏、四番荒木選手が目の覚めるような打球で左中間を破るHRを放ち1点を返す。しかし、そのあとが続かなかった。二回表、パイレーツは二番八坂選手が右中間二塁打を放つと再び四番吉田選手がセンター前にタイムリーを放ち1点を追加。その後、七番佐々木選手、八番田村選手が連続ヒットを放ちこの回3点を追加。二回裏ジャガーズは出塁しようと六番稲富選手がセーフティーバントを試みるがパイレーツ捕手桐島選手の好フィールディングに阻まれ、塁に出ることができなかった。その後両チームとも点が入らず試合は進む。五回表パイレーツは一番桐島選手が相手エラーで出塁すると四死球で満塁となる。そしてWP、内野ゴロの間にランナーが返り3点を追加。続く六番大濱選手、七番佐々木選手のタイムリーで2点が入りこの回5点を追加する。その裏ジャガーズは何とかして追いつきたいが吉田投手に阻まれ出塁することができず、そのままゲームセットとなった。パイレーツ白岩監督は下位打線が打ってくれたことで打線が繋がり勝利することが出来たとのこと。一方ジャガーズ水流監督は去年に引き続きパイレーツから白星を上げることが出来なかったことを大変悔しがられていた。パイレーツは投打が噛み合い、いい雰囲気で行う素晴らしい試合運びだった。（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則）



ジャガーズ先発内田投手。



パイレーツ先発吉田投手。



一回表、吉田選手のタイムリーでホームへ返るパイレーツ選手達。



一回表、タイムリーを放ち喜びの吉田選手。



一回裏、HRの荒木選手を迎えるジャガーズベンチ。



二回表、右中間二塁打を放つパイレーツ八坂選手。



二回表、ライト前タイムリーを放つパイレーツ田村選手。



三回裏、レフト前ヒットを放つジャガーズ竹尾選手。



三回裏、セーフティバントを試みるジャガーズ道喜選手。



ショートゴロをバックホーム！ジャガーズ荒木選手。



四回裏、ライト方向へ打球を放つジャガーズ稲富選手。



五回表、レフト横タイムリー二塁打のパイレーツ佐々木選手。

### 青松園B 三回裏の猛攻で奈多サンデーズに軍配！

レッドサンデーズ（1敗）0 1 2 0 0 0 3 江口●ー荒口

奈多サンデーズ（2勝）3 0 5 0 0 0 8 塚本○ー長濱

HR：長濱（奈多サ） 3BH：嶋村（レッド）川上、野田（奈多サ） 2BH：八島（レッド）

盗塁：長浜、野々下、土田（奈多サ）

昨年覇者の奈多サンデーズ（以下サンデーズ）は、唯一の黒星を喫したレッドサンデーズ（以下レッド）相手に先発塚本投手が初回を三者凡退に切って取り、上々の滑り出し。サンデーズは一回裏、塚本投手と最多勝を分け合ったレッド先発江口投手の立ち上がりには一番川上選手が左中間三塁打で出塁すると、一死三塁から三番長濱選手のレフト越えHRで2点を先制。その後も挟殺プレーの間に走者野々下選手が生還し、初回到3点を挙げる。3点を追うレッドは二回表に四番八島選手のセンター前、六番寺岐選手のライト前、七番荒口選手のセンター前適時打で1点を返すと、三回表には三番嶋村選手、四番八島選手の連続適時打で同点とする。しかし、サンデーズはその裏五番土田選手の適時内野安打、さらには一死満塁から七番野田選手の右中間への走者一掃の適時三塁打などが飛び出しこの一回一挙5点を挙げレッドを突き放す。サンデーズの塚本投手は、三回以降得点を許さず、リードを守ったままレッド打線を封じ込め、白星を飾った。

（記事：雁ノ巣ライナーズ 明瀬 旭 写真：今林 貢）



レッドサンデーズ先発の江口投手。



奈多サンデーズ先発の塚本投手。



一回裏、先頭打者で三塁打を放ったサンデーズ川上選手。



先制の2ランHR打を放ったサンデーズ長濱選手。



三回表、1点差に詰め寄る適時三塁打のレッド嶋村選手。



三回裏、レッドを突き放す一打を放ったサンデーズ野田選手。

## 奈多グラウンド 逆転でフレンズ生野親子がブルーマーリンズ横山親子を下し、三苦ダービーを制す！！

ブルーマーリンズ（1敗）4202 8 横山（祥：父）●ー横山（健：息子）

三苦フレンズ（1勝1敗）208× 10 山口、生野（拓：息子）○ー佐藤

**3BH**：横山健（ブルー）寺山、山口（三苦フ） **2BH**：吉村（雄）（三苦フ） **盗塁**：生野（拓）（三苦フ）

一回ブルーマーリンズは、立ち上がりの不安定な山口投手の四死球5に矢野選手のタイムリーが出て、幸先よく4点を先制。対するフレンズも、同様に立ち上がり不安定な横山投手の4四球とエラーが絡み、2点を返しさらにチャンスが続くも、ブルーのサード末松選手のファインプレーが出て、2点止まりとなる。対するブルーは、二回に一番横山（健）選手の三塁打に四球や桑野選手のタイムリーも出て、2点を追加。さらに二回裏のフレンズの攻撃を2点に抑え、ブルーマーリンズベンチは大いに盛り上がる。ここでフレンズは生野（猛：父）監督がピッチャーを生野（祥：息子）選手へスイッチ。この交代が功を奏し、三回のブルーマーリンズの攻撃をあっさり抑えると、フレンズ打線に勢いをつける。山口選手が四球で出塁すると、一死後、吉村（雄成：息子）選手の二塁打でチャンスを広げ、寺山選手の三塁打で2点を返すと、二死後御手洗選手の本日二本目の単打や四球、エラーでチャンスをつなぎ、山口選手の三塁打でついに逆転。最終回は、フレンズが本日三組目の親子、吉村（雄二：父）を二塁手に起用し、ブルーマーリンズの反撃を何とか2点に抑え、薄氷の勝利をつかむ。四死球やエラーが多く、守備の集中力が保つのが難しい展開であったが、両投手の復調が、若手が増えてきた両チームの今後を占いそう。親子三組が同時にプレーし、和白ソフトボールリーグの歴史を感じさせる一戦でした。

（記事、写真：三苦三球会 渡邊航一郎）



三苦ダービー開幕。



三苦フレンズ山口投手。



ブルーマーリンズ横山投手。



好守備で魅せるブルーマーリンズ末松三塁手。



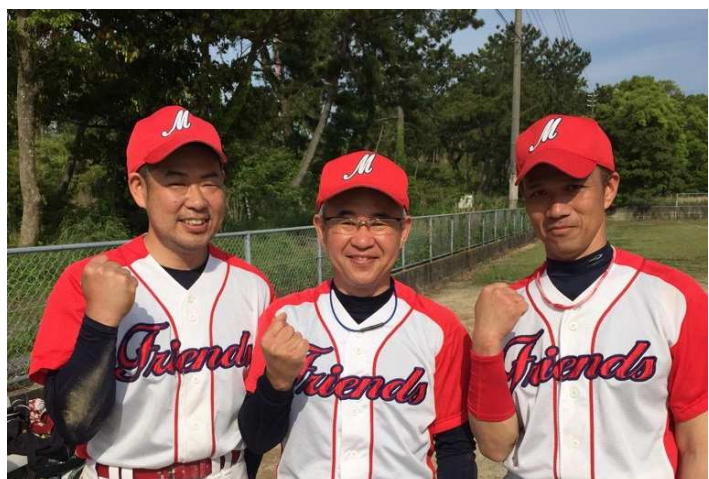
三塁打を放ったフレンズ山口選手。



三塁打を放ったフレンズ寺山選手。



勝利投手の生野拓磨選手と勝ち越しタイムリーの山口選手。



攻撃で大活躍ベテラン御手洗選手と寺山選手、膝の故障から元気に復帰生野監督。

### 第3週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

5月24日、第3週は4試合が行われました。

雁レクDのソルトベイズスターズ対新町ウインズ戦は、前回終盤の失点で負け投手となったウインズ藤田投手が躍動！毎回の12奪三振で三塁を踏ませず完封勝利。ソルトは中村三兄弟の不在が響いたのか2安打に抑え込まれた。

青松園Aの新町パイレーツ対塩浜ジャガーズ戦は、前回奈多クラブを1-0の完封で下したパイレーツが、初回のジャガーズ内田投手の立ち上がりを叩いて、4点を挙げると、その後も攻撃の手を休めず12得点。一方ジャガーズは開幕から3試合全で行っているが、未だ白星がない。去年は開幕から6連敗を喫し、初白星が8月31日だったが、今年はどうだろうか？

青松園Bのレッドサンデーズ対奈多サンデーズの同門対決は、昨年覇者奈多サンデーズから唯一白星を挙げたレッドサンデーズの頑張りに注目が集まった。しかし、初回を無難に抑えた塚本投手に対して、レッド江口投手は3失点。二回表に追いつきはしたが、追い越せなかったのが運の尽き。三回裏に得意の集中打に足を絡めたサンデーズが5点を取り勝負は決した。サンデーズ二番長濱選手が先制2ランを含む3打数3安打、七番野田選手は満塁から勝ち越しの走者一掃三塁打を含む2安打3打点。八番鳥羽選手の2犠打も光った。

奈多グラウンドのブルーマーリンズ対三苦フレンズ戦は、両チーム合わせて19四死球という制球力の悪さが招いた守備のリズムも取りづらいう一戦。二年ぶりの勝利を狙ったブルーマーリンズだったが、三回裏に四球とエラーで溜めたランナーを長打3本で一気に八点を奪われ逆転負け。去年の順位下位2チームの熾烈な(?)争いはフレンズが勝利を収めた。

梅雨入り前の貴重な日曜日が雨で流されないように祈りつつ、皆さん怪我の無いようにがんばりましょう！

各チームの編集部員さんは、月曜日の夜までに写真とレポートを送って下さいね。